

きたやつがたけ てんぐだけ
コース 28 北八ヶ岳 (天狗岳)

リーダー CL T/Y SL E/S

実施日 平成26年9月7日(日)曇り時々晴れ、8日(月)晴れ

参加者 21 (男性 5 女性 16)

グレード B上~C

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
7日秋葉区役所前		6:00	米山、姥捨 SA 経由
麦草峠登山口	11:20	11:30	白駒奥庭園見学 白駒池 12:00
青苔荘テント場	12:07	12:35	青苔荘のベンチで昼食
白駒荘		12:40	苔が美しい登山道
にゅう 2,352m	14:10	14:55	中山峠 16:10
黒百合ヒュッテ	16:20		夕食後に持ち寄った酒とつまみで懇親会
8日黒百合ヒュッテ		6:20	7:56 東天狗岳 8:15
東天狗岳 2,640m	7:56	8:15	
西天狗岳 2,646m	8:32	8:45	西尾根(大岩のペンキ頼り下山) 第一展望台 10:05
唐沢鉱泉	11:43	11:50	光苔見学
渋の湯口	13:00	14:00	渋の湯にて入浴
秋葉区役所前	18:40		諏訪 IC,小布施,米山 SA、新津 IC

山行等概要(幹事のコメント)

- 今年の夏は天候不順で、各地に豪雨の災害をもたらしています。山行当日までパソコンの局地天気予報と睨めっこでした。雨具の着用は覚悟で、参加者には事前にザックカバーを含めて防水スプレーの加工も連絡しました。
- 北八ヶ岳の針葉樹林と苔地帯はガスと雨が、美しい景観を作り出しています。天気が良くても湿度が高く木道や岩が滑りやすいのです。道路事情で麦草シユッテ到着が一時間ほど遅れました。これが幸いして雨上がり後の登山開始になりました。
- 一日目の最高峰にゅう、岩を積み上げた狭い山頂を交代で眺望を



東天狗岳山頂 2,640m

楽しみ、黒百合シュッテに四時過ぎに到着しました。

- 早い夕食（五時半）でしたが、生ビールジョッキで乾杯。混でる時は 30 分交代の食事ですが、交代無しゆっくりできました。
- 二日目は天候に恵まれ東天狗岳山頂は四方のパノラマはもちろん、八ヶ岳主峰、赤岳、蓼科が両脇に鎮座していました。下山は稜線歩きです。西天狗岳直下から大岩の隙間を縫うように慎重に下山、唐沢鉱泉到着が遅れました。鉱泉宿裏手の光苔見学し最後の体力と気力で渋の湯に向かう。登山道は苔のジータンがひかり輝いて向かえてくれ、シラビソ林の木漏れ日が花を添いてくれ、二度とこんな景色に会えないと感激しました。
- 渋の湯到着時は体力気力もなし、精根尽きた実感です、メンバーの皆さん良く頑張ってくれました、ありがとうございました。

「北八ヶ岳」に参加して

(1501)M/K

今年の夏は天候不順で、山好きは悩まされました。

7日出発の朝起きたら雨（やっぱり・・・）

今日も雨、合羽着て歩くのかと覚悟、集まる皆さんもしっかりザックカバーとスッパツのいでたちです。

上信越道進むと妙高連山が青空背景にとてもきれい。

このまま青空を連れて長野入りしたいもんだと願いました。



にゅう山頂 2,352m

苔、もののけの森、辛い登りに林間から陽が差し込んで来たりして喜びます。

やがて空が開けて大きな石が積み重なったにゅうに到着

狭い山頂は交代で登山「北八ツで富士山が見えるのはここだけだぞ」

麦草ヒュッテ到着が予定より遅れて歩き出すのですが、廻りは真っ白何も見えず！

すぐ木道になりアレシ？すれ違う人は合羽姿です。

ドロドロ、ぐちゃぐちゃ道で今さっき雨が上がったばかりなのだと解りました。

白駒池で遅い昼飯に「にゅう」を目指します。

ここからの木道が滑りそうで冷やの連続。さっきのドロドロ、ぐちゃぐちゃ道の方がまだいいくらい。眺望も無い針葉樹林帯に美しい



赤岳.阿弥陀岳を見ながら下山

遠くには槍の尖り、穂高の北アルプス、東天狗岳山頂からも去年歩いた赤岳、中岳、阿弥陀岳、奥には南アルプスが連なってバンザーイ・・・

西天狗はすぐ目前、ぐ〜んと登りに見えたが実際は20分ほど。



あれもこれも見せたい、歩かせたい、みんなの喜ぶ顔が見たい。そんなリーダーの意気込みを感じてひたすら歩いたのでした。

武田信玄ゆかりの名湯「渋の湯」で汗を流し

「腹減った〜」

昼食はコンビニに寄って調達バスの中で。



富士山は見えなかったのですが、真っ青な空が歓迎してくれました。

そこからまた樹林帯と苔の道を中山峠迄

今晚の宿、黒百合ヒュッテ到着は4時過ぎ 玄関の温度計は14℃でした。

8日朝も雨の心配無し。

昨日下りてきた中山峠まで上がり、稜線に出ると昨日歩いて来た森に、白駒池がみえ奥秩父の山並み、左手

大変なのはここからの下りでした〜。

でっかい石の連続を急降下、こんな難儀な登山道は初めてかも、幸いにして暑くもなく寒くもなくの山日和なのだが、唐沢鉱泉がみえた時にはもう靴を脱ぎたいほど。

ところがそこからまたひと山登って(25分ほどだが)下って、渋温泉迄約1時間こどもこんもり緑の苔が何処までも、「こんげ綺麗な苔の森はもう来れないろ」とリーダー。



リーダー始め各班長さん、会計さん、参加した皆さんありがとうございました。

ドライバーさんも我が会員のように協力頂き、区役所到着は予定通りの時刻でした。

7日 麦草峠～にゅう～黒百合ヒュッテ



青苔荘



白駒池左岸



にゅうに向かう林



白駒池



にゅう山頂



にゅう山頂

8日 黒百合ヒュッテ～東天狗岳～西天狗岳～唐沢鉱泉～渋温泉



黒百合ヒュッテ前



バックは「にゅう」



東天狗岳山頂



西天狗男メンバー



赤岳.阿弥陀岳を見ながら下山



西天狗から東天狗



西天狗から大岩の下山道



西天狗から大岩の下山道



西天狗から大岩の下山道



唐沢鉱泉に向かう下山風景



唐沢鉱泉から渋の湯に向かう苔の道

